



ファミリア

一
通
信



横手市サンハイム



「地域に支えられ30余年
公園の桜とともに母子の暮らしを
見守り続けます」

気概の人はを偲んで



社会福祉法人
ファミリーケアサービス
理事長 阿部 健二

品川信良先生の訃報を知ったのは、逝去なされて一週間ほど後の1月の末でした。

弘前大学の事務局の方から先生が当法人の仕事をなされていたことの問い合わせがあつて、その時はじめて先生の長逝を知らされました。

先生と最後にお逢いしたのは昨年四月二十四日弘前公園のさくらが満開の日でした。

その日は好天に恵まれ、まさに絶好のお花見日和で同行した三人の車に先生も同乗され一緒に名所弘前公園を車で一周して満開のさくらを観賞したとき、先生は弘前に長い間住んでいるが、こんなに

いつの間にか先生がおひとりで三杯目を完杯するほどの元気快調そのものの老健ぶりで実に楽しいひとときを過ごされました。

その席での最後のお話は五月の連休明けには眞木さん（秋田大学

名誉教授・医師）と久々に会うのが楽しみなんだよと云われたの

で、秋田に来られるようでしたら横手まで歩をのばして下さいと話したところ、弘前の方へ出向いて

こられるとのことで、その日のことをとても楽しみにされておられました。

眞木正博先生とは私も永い間親交がありながらここ暫くご無沙汰

していましたので、その節はよろしくお伝え願いますといつてお別れしたのが最後となってしまい、まさに永久の別れになろうとは夢想だにしませんでした。

当の眞木先生はお会いする予定

は古く、すでに故人となられましたが横手に開業されておられた神産婦人科医院院長神正道先生からの紹介されたのが昭和五十年頃のことでした。その時の品川先生の第一印象は大学教授の医師の肩書よりもとても人間性の豊かなお人柄の紳士で気概の人と感じたことです。

その後何回となくお会いしているうちに、博学多才な先生は行動力にも満ち、国内は勿論のこと海外の学会などへも屢々健脚を伸ばされました。

されておられたことから卓越した識見と常に新鮮な話題も多く聞かれ互いに共鳴するところがありましたので先生にはすっかり魅了されました。

先生とは肝胆相照らす仲となっていたので、その節はよろしくお伝え願いますといつてお別れしました。

また先生には平成四年四月から平成九年三月までの五年間市立横手病院の名譽院長の公職をお願いして横手平鹿広域医療協議会を設立し、地域医療体制の整備にいろいろご支援を賜りました。

まつたことは何より心残りであつたことでしょう。

顧みますと品川先生との出会い

は古く、すでに故人となられましたが横手に開業されておられた神産婦人科医院院長神正道先生からの紹介されたのが昭和五十年頃のことでした。その時の品川先生の第一印象は大学教授の医師の肩書よりもとても人間性の豊かなお人柄の紳士で気概の人と感じたことです。

その後何回となくお会いしているうちに、博学多才な先生は行動力にも満ち、国内は勿論のこと海外の学会などへも屢々健脚を伸ばされました。

されておられたことから卓越した識見と常に新鮮な話題も多く聞かれ互いに共鳴するところがありましたので先生にはすっかり魅了されました。

先生とは肝胆相照らす仲となっていたので、その節はよろしくお伝え願いますといつてお別れしました。

また先生には平成四年四月から平成九年三月までの五年間市立横手病院の名譽院長の公職をお願いして横手平鹿広域医療協議会を設立し、地域医療体制の整備にいろいろご支援を賜りました。



桜満開の弘前公園

先生は人口動態などから推測され、秋田県は早く全国一の少子高齢県になることを予見され、とくに高齢者、障がい児者の医療福祉の充実と病診連携や広域医療・電子カルテ時代への対応など二十世紀に向けての大変貴重な提言をなされておられましたことが今まで現実となつております。

先生は高齢者福祉と障がい児者福祉をことさらに重視され、退官後の仕事として積極的に社会活動をしたいといわれたことが、当法人の創設に結びついたことでした。

退官後間もない平成四年に向後二十一世紀型の福祉事業は行政と民間が一体となつて対処しなければ少子高齢社会の福祉政策の実現は困難であることを提起されました。

そのためには公設民営型の福祉施設を構築すべきであり、用地確保や施設建設などのハード面は行政が担い運営や人材育成などのソフト面は民間の方がより活力があつて機能的であることを説かれました。

協議を重ねたが、当時は事業の公設民営などと云う先生の先見した発想には、全国的に見ても前例のなかつたことから容易に同意を得られませんでしたが、行政機関の反対には何んら躊躇することなくご自身の意志を根強く貫くと云う堅固な姿勢には敬服し、学ぶところが多くありました。

先生のたゆまぬご努力によつて、全国でははじめて公的機関を併設した公設民営型の福祉施設の建設が実現したことでした。

従来は用地が安価で済むからといつて老人や障がい者の施設などは姥捨山のような郊外に建てることではなくして、むしろ市街地の賑わいのある所に用地を探し出して、地域の人々と一緒に交流を図ることが最も大切であることを早くから提倡されていました。

そしてまた施設の運営には有能な人材の育成が必要であり奨学金制度の制定をされました。これら

人が大事なことであつて、学んだ後復習しながら一杯やつて議論した方が効率的な会になることをよろがんでいました。

人は生涯学習することによつて成長することが大切と云われて生ご自身も退官されるや直ちにセミナー「医療と社会」を主宰されました。

活字は必ず残つて社会に役立つものだよと云われ、セミナーの都度毎回立派な機関誌を発行し誌上に多くの論文を掲載されましたことは先生の大きな足跡であり、他にも専門の医療機関誌は勿論多くの紙上に投稿された数々の論文はまさに碩学の士として生きた証しとなることでしょう。

当法人でも先生の尊い教えに従つて、広く市民に公開されたセミナー「福祉のひろば」を企画して毎年継続開催しているところであります。

先生には当法人を設立する以前の実現には当時の横手市長寺田典城氏の強力な政策判断も大きく寄与されてのことでした。これら

とが大事なことであつて、学んだ

とが大事なことであつて、学んだ後復習しながら一杯やつて議論した方が効率的な会になることをよろがんでいました。

人は生涯学習することによつて成長することが大切と云われて生ご自身も退官されるや直ちにセミナー「医療と社会」を主宰されました。

人が大事なことであつて、学んだ後復習しながら一杯やつて議論した方が効率的な会になることをよろがんでいました。

人は生涯学習することによつて成長することが大切と云われて生ご自身も退官されるや直ちにセミナー「医療と社会」を主宰されました。

人が大事なことであつて、学んだ

たち）を過ぎたからと云つて後進に道を委ねられました。

先生の熱い思いで福祉はファミリーでなくてはならない、加えてボランティアの必要性とコミュニケーションの重要性を説かれるなど法人の運営に多くの示唆を与えてくれました。

退官後先生の残された大きな仕事は特に青森の地に在つて「核兵器の廃絶や核拡散防止」を心底から願い広く社会に警鐘を打ち続けられたことでしょう。

先生の生きる目標のもうひとつに、日野原重明先生（聖路加国際病院名誉院長）の主宰させていた百歳志向会への参画でした。今後とも当法人役職員が一体となつて、先生の崇高なご遺志を大切に向上心をもつて社会福祉の発展に努力しなければならないと思います。

酒席での先生は致酔剤がほどよくまわつてくるとヨオー歌おうよといわれて出てくる最初の歌は決つて秋田県民歌でした。「秀麗無比なる鳥海山よ」と歌い出すのです。歌詞を四番までしつかりと暗誦されておられました。おそらく少年の頃から朝に夕に自

宅から眺望する秀峰鳥海の雄姿に大志を立てたことが脳裏にきざまることと思われます。先生の晩年の年賀はがきには富士山が刷り込まれていましたが、もしかして先生にとつては富士山でなく意中の鳥海山を表現されていたことと思いま

す。

望郷の念深かつた先生のご遺骨は古里大曲、雄物川の西方の丘に建つ由緒ある品川家の菩提所見秀寺の墓地に手厚く葬られました。

謚は「天徳院医應聖信大居士」

多年ご高誼を賜わり尊敬してやまない品川信良先生のご恩情に深謝いたすと共に、偉大なご遺徳を追慕し、謹んで只らご冥福を祈念申します。

散るさくら
残るさくらも

散るさくら
(良寛句)

令和二年三月二十四日

阿部脩二

合掌



初代 理事長 品川信良先生遺影
(令和2年1月2日撮影)
(令和2年1月24日逝去)

第15回

福祉公開セミナーを開催

北都銀行戸田様からは、横手の気候に着目し、この地の農業が秘める可能性や強みについてお話をいただきました。



初めて横手市社会福祉協議会との共催で開催しました。

チャン様からは母国ベトナムと横手の文化の違いを通して、国際化や外国人労働者受入れの課題についてお話をいただきました。



事業所

だより

『ありがとう、豪風！

～豪風引退押尾川襲名披露大相撲～

児童養護施設

横手市立県南愛児園 「ドリームハウス」

藤井 恭子



凜々しい押尾川親方

県南愛児園が属している秋田県児童養護施設協議会へ秋田の誇り「豪風」あらため押尾川親方の断髪式ご招待東京ツアーオの誘いをいただいたのが一〇一九年十月。親方は現役時代、秋田へ帰るたびに県内各地の学校や福祉施設を訪

れ子ども達と交流を重ねており、引退相撲の日取りが決まった時も「子ども達に、土俵に立つ最後の姿を見てほしい」と、真っ先に県内四つの児童養護施設の子ども達へ国技館の観戦席をプレゼントすることを決め、豪風後援会事務局長岡田さん、秋田魁新報社経営企画室疋田さんとともにご尽力くださいました。親方からも、子ども達とふれあいからもらった勇気や元気が厳しい相撲の世界で戦う原動

力となっていた、とのお話をいたしました。

令和二年二月一日（土）当日は諸事情により、弾丸日帰りツアーノになりました。相撲を見る機会のない子ども達にとっては何もかもが初めての経験ばかり。暗いなか雪の降る横手を出発：始発の秋田新幹線こまち：横手と違い、ハレの日にふさわしい雲一つない快晴

の東京：満員御礼の両国国技館：目の前に立ちはだかる大男の集団…。櫻太鼓を聞きながらやつとの事で両国国技館に入場すると一門の関取衆が羽織袴でお出迎え！圧巻！！見る事のない光景に職員、大興奮！！！じっくり写真を撮り一人一人のサインをもらいたいところでしたが、うめつくされたお客様の波で前へ進めず。子ども達を見失わぬよう、いつも以上に強い力で子ども達と手を繋ぎ、会

場へと進みます。親方と息子さんとの最後の取り組みが終了、いざ断髪式が始まると、国技館内いつぱいに子ども達から大きな声援が飛びかいました。「豪風。ありがとうございます」「豪風だあいすきいー！」押尾川親方はじめご招待に尽力下さった皆様に、子ども達の熱い熱い想いが届いたことでしょう。



櫻を前に「はい、チーズ」



眠い目をこすり いざ出発！

『はい、どうも！』

特別養護老人ホーム

すこやか森の家 柴田 一仁

昨年は雪も少なく穏やかな冬と思われましたが、新型コロナウイルスの感染が各地で聞かれ、当施設でも様々なウイルスの感染予防のため面会制限を行わせていただきました。ご来所された皆様にはご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、すこやか森の家も皆様に支えられ早十六年、人に例えれば高校一年生開設当初の職員も異動等により大分少くなりました。が新しい空気を入れながら成長しております。



おいしい味噌汁どうぞ！



バラエティな寿司メニュー



季節の味 きりたんぽ

『大満腹の新年会』

ケアハウス すこやか横手 佐藤 留衣子

“おいしい食事、楽しい食事”を大切に、入所されている方にとつて、楽しみの一つである食べる事を、介護・看護・栄養と各職種の連携で提供しています。

食事について心がけていることは、できるだけ多くの種類の食品を使用し、栄養バランスを整え旬の食材で季節感のある食事の提供と、入所者の生の声を聞き、行事食や特別食に取り入れ、普段の食事とは違った変化や楽しみを提供し、メリハリのある食生活にすることです。

今回は、入所者の要望の多い大人気メニューのにぎり寿司・きりたんぽ鍋・しおつる鍋を「新年会」で提供し、喜んでもらうことができました。普段は食が進まない方、お粥の方も「お寿司は

別!」ということでたくさん召し上がることができ、新しい一年のスタートを楽しくおいしく迎えることができ、うれしい一日となりました。



新年会のひととき

『自家発電機操作説明会開催』

特別養護老人ホーム すこやか大雄 佐藤 嘉代子

近年、地震等の自然災害によつて停電等の被害が発生しています。入居者・利用者の方々に、安心・安全な生活を送つて頂くためには、電気は欠かせない存在です。

当施設において、平成三十年度に大規模改修を行つた際、非常電源設備の新設工事を行いました。

非常電源設備の新設を契機として、今後停電が発生した際に、速やかに自家発電機等の設置・活用ができるよう、今年度に入り、全職員を対象とした説明会を実施しました。必要機器の保管場所や設置方法、注意点等について、設備管理の職員より指導を受け、実際に自家発電機の起動操作を行つた際にも見られましたが、停電時には、慣れない機械操作に苦心する様子も見られました。それでも必要な電力の確保が可能となることについて身を持つて学び、災害に対する備えの一歩について、実感できる良い機会となりました。



ケーブルと発電 接続操作の体験です！



発電機ケーブル取り出し中です！



真剣に作成中



完成！！



ひと段落しお茶っこ飲み

私たちすこやか館では、地域密着型の施設として、地域の方々と交流の機会をもつように心掛けています。その中の一つとして地域交流会があります。約一ヶ月に一回のペースで施設周辺を対象として、地域の方々を施設へ招待する形で行っています。

今回は、初めての試みとなつた陶芸教室を紹介します。地域からは十名の参加をいただきました。参加してくださった殆どの方が初めてで不安そうに周囲の方々と「あ～だ、こ～だ」と話しながらのスタートでした。徐々にコツを掴んでベースを上げ夢中になり、無言で没頭する様子や、一生懸命になり過ぎて、汗で眼鏡が曇り視界不良者も出たりと、とても和やかに会が進みました。

最後は皆さんでお茶会を開き、参加された方からは「お茶会があるのであれば毎月あつてもいいですね」や「今はなかなか行つたり来たりできなくて、こんな機会はありがたい」とのお話をいただきました。後日、完成した個性豊かな茶碗は「夏祭り」に展示させていただい

『地域とのつながり』

小規模多機能型居宅介護 すこやか館合 藤原 浩平

参加された方からは「お茶会があるのであれば毎月あつてもいいですね」や「今はなかなか行つたり来たりできなくて、こんな機会はありがたい」とのお話をいただきました。

後日、完成した個性豊かな茶碗は「夏祭り」に展示させていただい

『増田町の歴史を感じて』

特別養護老人ホームシルバードーム いきいきの郷 大塚 貴広

増田町のぽんでん祭りが近づく二月二十日。増田小学校の生徒さんからミニぽんでんをいただきました。どれも個性のある作りで一つとして同じものはありません。小学校の伝統行事学習の一環でミニぽんでんを作り、ぽんでん祭りに来た方々に差し上げるものだそうです。

増田の小正月行事であるぽんでん祭りの歴史は深く、一六四三年（寛永二十年）頃、増田に十軒以上あつた「イサバヤ（魚屋）」の若衆が商売繁盛祈願でぽんでん奉納したのが始まりと言われており、秋田市、横手地区のぽんでん祭りに次ぐ伝統行事です。増田のぽんでんの特徴は、装饰、唄、演技の三拍子揃った勇壮で豪快な演技ぽんでんです。見所は「ぽんでんコンクール」で、半纏姿の男衆がぽんでん唄にあわせて約十五キロあると言われる伝統の麻糸ぽんでんや、その年の干支の頭飾りなどをつけたぽんでんを肩や腰、頭などに乗せる妙技を披露します。勇ましい掛け声とともに披露される演技は迫力満点で魅了されます。当日は「ジョヤサ、ジョヤサ」という掛け声が町内に響き渡り、近所の子供たちも元気に掛け声を掛けて練り歩きます。中七日町や上町が通行止めになるほどの賑わいを見せる春を呼ぶ行事として数多くの参加者が集います。今のようなコンクールは増田町商工会が始めたもので地域の重要な行事のひとつになっています。



素敵なおみぽんでんをありがとうございました！



記念の1枚。生徒の皆さんには伝統を守り続けてもらいたいと思います。

昔に比べ、奉納されるぽんでんの数は少なくなったと聞きます。それでも伝統を守り、地域を盛り上げようと住民の皆様が尽力されている姿には感銘を受けます。当事業所も地域に根差した施設として歴史を感じ、何かできることはないか日々模索しながら共に歩んでいきました。

『食事で広がる地域の輪』

母子生活支援施設 横手市サンハイム 武藤 千葉紀

サンハイムでは、子どもたちの夏休みや春休みの期間を利用して子どもたちに昼食を振舞う、「子ども食堂」を開催しています。この活動は、4年ほど前から始めたもので、サンハイムの入居者や地域の子どもたち、退所した子どもたちにも声をかけ行っています。

手作りの料理を食べてもらい食事の大切さを知つてほしい、季節の食材やいろいろなメニューにふれてほしい、一緒に作ることで食事作りの楽しさを味わってほしい、サンハイムを地域の方にもつと知つてほしい、みんなの交流の場となつてほしい、とにかくみんなでワイワイ楽しく食事がしたい・・・と職員のたくさんのが子ども食堂には込められています。

ランティアの方達の力を借りながら愛情たっぷりの食事を作つて、交流の輪を広げていきたいと思っています。



たくさんの子どもたちで大賑わいです♪



ボランティアさんとの交流もあります。

『楽しい自由あそびの時間』

児童発達支援事業 モモの家 佐藤 歌織

給食を食べ、はみがきが終わつた後にやつてくる時間。それは「楽しい自由あそび」！おうちの方たちとは一時離れ、保育士たちと好きなおもちやで遊ぶ時間です。

ここでは、「あ、あの子は車が好きだつたんだ！」「へえ！プロックで作るのがこんなに上手なんだなあ。」など、子どもたちのいろいろな面を見ることができます。

他にもままで遊びやお人形のお世話が上手だつたりとか、新しい発見が満載です。子どもたちは友だちとやり取りしたり、年上の子と関わることで、よりダイナミックな遊びへと広がるきっかけになることもあります。初めのうちは自分から友だちに声を掛けることに躊躇していた子も、毎週顔を合わせているうちに仲良くなり、いつのまにか保育士がいなくても子どもだけで楽しそうに遊んでいることもあります。片付けの時間にもドラマがあります。遊びをやることもあります。片付けの時間に嫌で泣き出す子、作ったブロックの作品を飾ることで納得して他のおもちやを片付け始める子、率先して片付ける子など、それぞれに個性が見られます。活動などもですが、実は子どもたちの社会性が養われるものは、この「自由あそび」の時間なのではない

いかと思います。そして私たち保育士にとつても、いろいろなことに気づかせてくれる大切な時間であります。



「先生に負けないぞ !!」



「うわー、せまいなあ！」

毎月第四水曜日、公益社団法人日本3B体操協会 公認指導者の指導士 泉きみ先生をお招きして、用具を使って様々な音楽に合わせて体操を行っています。

3B体操の3Bは、ボール(ペル、ベルタ)の三つの用具のことといいます。

最初は何が始まるんだろうと思つていていた利用者の皆さんも回を重ねるごとに体の動きが大きくなり笑顔も広がります。毎日の作業で疲れた体を思いつきり動かせるこの時間は、気分転換につながり毎月楽しみにしています。

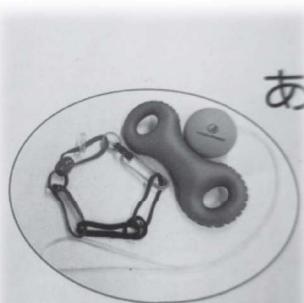
普段なかなか体を動かす機会が少ない利用者や職員ですが、終わる頃には体がポカポカして何だか軽くなつた気分になります。体に無理なく楽しみながら行えて気軽に出来ますのでお勧めですよ。

『皆で3B体操!!』

障がい者支援施設 ひまわり社 沢村 紀子



「ベルを両手に持って頭の上にあげますよ」



「ボール、ベル、ベルター」



「ボールをしっかりもってください」

善意ありがとうございました

平成三十一年四月一日～令和二年三月三十日まで

増田町婦人会 鶴飼美和子様
(横手市増田町)
ビハーラ赤坂様 (横手市赤坂)
藤原君雄様 (横手市増田町)
有料老人ホームかまくら1号館様
(横手市横手町)
有料老人ホームかまくら2号館様
(横手市横手町)

ひまわり社
株式会社ヴァルモード様
(横手市朝日が丘)
介護老人保健施設
(横手市横手町)

特別養護老人ホームさくら様
(横手市駅前町)
やすらぎの苑様 (横手市杉沢)
太平熔材株式会社 横手営業所様
(横手市横手町)

株式会社かんきょう様
(横手市駅前町)
横手市障がい者支援施設
(横手市横山町)

有限会社秋田かまくらミート様
(横手市横山町)
遠藤設備様 (横手市平鹿町)

横手市更生園様 (横手市大雄)
古美術 くとめ様
(横手市横山町)

大和更生園様 (横手市大雄)
秋田県社会福祉事業団
阿桜園様 (横手市赤坂)

雄物川理容組合様
(横手市雄物川町)
渡敬文具館様 (横手市四日町)

株式会社ツルタツク様
(横手市清川町)
特別養護老人ホーム 懇寿園様
(横手市十文字町)

佐藤正子様 (横手市増田町)
石橋哲男様 (横手市増田町)
渡敬文具館様 (横手市四日町)

いきいきの郷
佐々木良文様 (横手市大雄)
JA秋田ふるさと女性部
(横手市大雄)

すこやか大雄
佐々木良文様 (横手市大雄)
JA秋田ふるさと女性部
(横手市大雄)

すこやか大雄
田根森婦人会様
(横手市大雄)

すこやか大雄
亀田婦人会 藤原愛子様
(横手市増田町)

法人本部
株式会社テラセ牛様
(横手市駅前町)
朝日綜合株式会社様
(横手市赤坂)
横手市社会福祉協議会様
(横手市卸町)

北日本コンピューターサービス
株式会社様 (秋田市)
大雄小学校様 (横手市大雄)

菊地円藏様 (横手市十文字町)
すこやか森の家
雄物川理容組合様
(横手市雄物川町)

すこやか横手

石村美貴夫様 (横手市南町)
藤倉忠彦様 (横手市大町)
松川文太郎様 (横手市安田)

すこやか横手

すこやか大雄
JA秋田ふるさと女性部
(横手市大雄)

すこやか森の家
雄物川理容組合様
(横手市雄物川町)

すこやか館合

すこやか大雄
佐々木良文様 (横手市大雄)
JA秋田ふるさと女性部
(横手市大雄)

いきいきの郷
佐藤正子様 (横手市増田町)
石橋哲男様 (横手市増田町)
渡敬文具館様 (横手市四日町)

いきいきの郷
佐藤正子様 (横手市増田町)
石橋哲男様 (横手市増田町)
渡敬文具館様 (横手市四日町)

すこやか大雄
佐々木良文様 (横手市大雄)
JA秋田ふるさと女性部
(横手市大雄)



愛児園 保育士

黒沢 純南さん

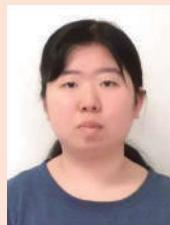
- ①体を動かすことが好き 体力と笑顔 明るさ
- ②寝ること 食べること 友達とたくさん遊ぶこと
- ③できない理由を探さない
- ④誰よりも明るく一日一日を大切に何事にもチャレンジする年にしたいです。



すこやか横手 介護職員

高橋 ちひろさん

- ①優しい所
- ②己龍(きりゅう)kissbeeの曲を聞く事とカラオケに行く事
- ③九条武政 酒井参輝(己龍)
- ④ひとつひとつのことを見つめることを最後まで丁寧に取り組む
笑顔をモットーに自分なりに頑張ります!



すこやか大雄 介護職員

佐藤 遥香さん

- ①運動大好き
- ②音楽を聴く 運動をする
- ③嵐
- ④仕事に慣れ、信頼される介護福祉士になる。



新卒職員紹介

- ①アピールポイント ②リフレッシュ方法
- ③好きな言葉、好きな人物 ④今年の目標

すこやか大雄 調理員兼栄養士

古屋 菜々子さん

- ①明るさ 笑顔
- ②寝ること 食べること テレビを見る
- ③ありがとう 努力は必ず報われる
- ④自分の仕事に責任を持ち周りの人と協力をして頑張ります。



すこやか館合 介護職員

坂本 岬さん

- ①元気、笑顔
- ②友だちと遊ぶこと 音楽を聴くこと
- ③努力
- ④早く仕事に慣れ、信頼していただける介護士になる。



降雪が少なかつたせいか、秋に植えたチューリップの球根の芽が早々に顔を出し、例年よりずいぶん早く花を咲かせそうです。なかよし公園の垂桜の花芽もほんのり膨らんできました。今年は新型コロナウイルスの流行で外出も気が引けてしまいますが、季節を愛する気持ちを忘れずに身近な春を楽しもうと思います。(m・h)

編集後記

すこやか横手ホールに展示

和 気 致 祥 (心をひとつにすれば幸せがくる) 手賀夢洲 挥毫

今年度は職員みんなが心をひとつにして、この地域が幸せになるように努めたい。

